

## 平成24年度小学校拠点整備活用校訪問 門真市立門真みらい小学校



更新日：2013年7月11日

### 小学校拠点整備活用校訪問として、門真市立門真みらい小学校を訪問しました

#### 1. 拠点活用のポイント

- ・「かどま土曜自学自習室サタスタ」「まなび舎Kids」の学習支援活動の準備及び協議に活用しています。
- ・「まなび舎Kids」に取り組む日は、学習の後に拠点を活用した工作などの活動を行います。（拠点以外でスポーツなどに取り組むこともあります。）図書室と拠点は、同一の校舎の2階にあり、移動にはとても便利です。
- ・地域の高齢者の方々が体操をする場として使用することもあります。
- ・拠点を活用して、19の自治会、民生委員、学校教職員が参加する夜間の教育懇談会を実施しています。
- ・拠点の鍵は、日中は地域の方が職員室にいられた場合に渡しています。夕方からは、配置されている警備員が必要に応じて開閉しています。
- ・夏休みに地域の木工会社の方が子どもたちを対象に木工教室を実施しているため、今後、参加者や支援者の暑さ対策として拠点を休憩場所として活用することも想定されています。



拠点名の表示

点の外観



整備された会議用長机、椅子



拠

#### 2. 整備内容

会議用長机9台、会議用椅子11脚

#### 3. 拠点整備の効果

- ・放課後の学習については、放課後の時間帯のはじめから終わりまで学習だけでは興味が続きにくい子どももいましたが、学習の後に拠点を活用した工作や遊びなどの楽しい活動を組み合わせることで、参加に積極的な子どもが増えました。
- ・上記の教育懇談会については、これまで場所の確保ができませんでした。拠点が整備されたことで実施が可能となりました。
- ・学習面や生活面において、地域からの支えが力になっています。拠点が整備されたことで、地域との結びつきがさらに深まりました。

#### ■ある日の拠点活用の様子



図書室でのまなび舎の受付の様子



宿題などの放課後学習にがんばって取り組んでいる子どもたち



学習を終えた後、拠点に移動して、  
工作の説明を聞く子どもたち



コーディネーターが作成したゴムでっぼうの作り方の説明書を参考にしながら、作業を進める子どもたち



コーディネーターにゴムでっぼうの作り方を相談している子どもたち



できあがってきたゴムでっぼう



愛着がわき、着色されている作品



図書室に戻り、受付に返却された  
子どもたちの名札



コーディネーターのお話を聞いて、そろって下校する子どもたち



・ 訪問日時 平成25年1月31日（木曜日） 15時から17時

・ 活動内容 ゴムでっぼうづくり

放課後に、子どもたちが図書室での学習（「まなび舎Kids」）を終えた後、拠点として整備された部屋に移動して工作を楽しみました。

子どもたちは、3年生から6年生が対象です。この日は、50名が参加しました。この日の安全管理員は4名でした。

普段は、水曜日の実施で、摂南大学の学生ボランティアも1回あたり4名から5名が参加しています。

放課後にまず図書室で宿題などの学習をし、学習が終わった子どもから、同じ校舎の同じ階（2階）にある拠点に移動して工作に取り組みました。

このページの作成所属  
[教育庁 市町村教育室地域教育振興課](#) [地域連携グループ](#)



[1つ前のページに戻る](#)

[このページの先頭へ](#)

[ホーム](#) > [学校支援地域本部等の拠点づくり](#) > 平成24年度小学校拠点整備活用校訪問 門真市立門真みらい小学校

[お問合せ](#) [ユニバーサルデザインについて](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [このサイトのご利用について](#)

大阪府  
（法人番号  
4000020270008）

本庁 〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 （代表電話）06-6941-0351  
咲洲庁舎 〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 （代表電話）06-6941-0351

[大阪府庁への行き方▶](#)